

太宰府市議会まちづくり総合問題特別委員会
行政視察報告（担当：門田／資料別添）

平成16年11月1日

J R陣原駅周辺の整備事業

現地を視察後、JR新駅がもたらす経済効果やJR太宰府駅（仮称）の考え方についてJR九州・北部九州地域本社を訪問し意見を交換、費用対効果や地元負担の問題などを議論した。

JRに対し太宰府駅の実現に努力をお願いしたが、「一駅で1～2分の時間ロスが生じ、速達性の問題がある。費用対効果を考えると地元負担が基本で願いたい。」との説明を受けた。

また、JRバスの運行の可能性や、採算がとれる乗降人数、将来快速・急行が停車できるのかなど活発な質疑を行った。



平成16年11月2日

岡山市役所

JR北長瀬駅(仮称)設置及び周辺整備について現地を視察。

岡山市役所で地元住民・JR 西日本・国・県など関係機関協議の期間と主な内容について説明を受ける。

概算事業費は約12億円、まちづくり交付金と地域活性化事業債。駅周辺には医療・福祉施設を設置。北口広場や自由通路も整備し一日の乗車人員は約1,700人の予測。



姫路市「姫路観光なびポート」

現地を視察、説明を受ける。姫路城周辺における新しい観光拠点として、市の観光部門、観光協会などが官民一体となって「もてなしの都市・姫路」の実現に努力。

観光客は7～8割が日帰り、交通手段はJRと私鉄で6割。ループバス100円を土日祝日に一日25回運行、月平均3660人(平成16)、15.2人/回(30人乗り)。

